

第 380 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 4 年 4 月 5 日 (火) 11:00～13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix SPRING MEETING～新生活作戦会議
[放送日時] 令和 4 年 3 月 25 日(金) 11:30～16:55
[出演者] 竹内由恵、川崎玲奈、鈴木愛実
(ゲスト) 當間ローズ
4. 出席者 [委員] 副委員長 角田哲康 委員 小野晃司
委員 服部乃利子 委員 土屋維子

[会社] 代表取締役社長 井熊正浩
取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充
編成制作部専任部長 鈴木秀明
編成制作部担当部長 寺田和史
5. 事務局報告
○ 2021 年度の報告の件 ○ 2022 年度の組織変更の件
6. 番組審議
[対象番組] K-mix SPRING MEETING～新生活作戦会議
[放送日時] 令和 4 年 3 月 25 日(金)11:30～16:55
[出演者] 竹内由恵、川崎玲奈、鈴木愛実
[番組内容] 新年度に向けて準備をする時期に、様々なテーマで各時間を構成し、新年度を迎えるわくわくと役立つ情報を散りばめた 5 時間 25 分の特別番組。
[聴取・合評での主な意見]

服部委員 全体的に『女子会』の LIVE 感が出ていた。
この時期に 5 時間超えの特別番組を行うことで新生活への提案を行うテーマ構成(健康・美容・恋愛・占い等)と思われるが、新生活を迎えるリスナーとのつながりが見えづらかった。
テンションの高い会話の中で、パーソナリティ 3 人の声の区別が、難しい時があった。それぞれの言葉には嫌な感じはしない。

小野委員 特別番組の中でも、正月の特別番組のこたつトーク(ゲストが入れ替わりでトークを展開する)のような雰囲気を感じた。内容の濃さよりも楽しいトークで盛り上がるという番組構成で、その方向で良しとす

るならば良いが、タイトルの「新生活への作戦」は番組に存在したのか。番組の中身自体は良いので、川崎・鈴木両アナがこういう内容で経験を重ね、また、内容に沿ったゲスト、ゲストに沿った話題作りを進めて行けば面白い番組になって行くと思う。川崎・鈴木両アナがこれからのキーとなる。

土屋委員

女性をターゲットとする番組としては、女性聴取者が関心をもつと思われるが、タイトルの「新生活作戦会議」と番組内容が合っていない。タイトルを変えれば、良いのではないか。時間のテーマの中に占いがあるが、一般的に、他人の占いには興味を持たない。しかし、占いを心理カウンセリングと捉えると、軽い気持ちで、聴くことができる場合があり、そのポイントをもっとトークで絡んでゆけば、聴き手の興味を引き出すことができるので、その点を、広げて行くと良い。女性3人の「女子会」は少し聴きづらい。2人位と聴取者自身（1名）で自分が参加している感じも出てくる。

角田副委員長

新生活に向けた「元気感」はよく出ていたが、番組の切り口の在り方は課題。3人のパーソナリティの立ち位置を考えると良いと思う。竹内さん、當間さんの立場を事前の連絡時にはっきりしておけば、より、わかりやすい立ち位置が演出できたのではないか。そういう意味ではもったいない配置にはなったが、今後に期待できる。また、季節感が出ていて、特別番組としては良いと思われる。

会社サイド

今回は、番組づくりにおいて、新たなトライアルでもあり、より一層のチャレンジを心がけて行きます。

次回開催日 令和4年5月10日（火） 11:00～13:00を予定

以上

番組審議会委員長

木 宮 敬 信